

【教科】道徳

【学習者】5年3組 29名

【授業者】木村 海

【授業日】令和7年9月20日(土) 2校時

【主題名】

公正・公平な社会とは

【資料名】

わたしとあなたの「ふつう」はちがう

【ねらい】

互いの違いを認め、尊重しようとしているか自分を見つめる。

内容項目

C 公正・公平・社会正義

【本時のねらい】

一人一人の違いを認め、尊重しようとしているか見つめ直して自分の行動を考える。

【本時の評価規準】

一人一人の違いを認め、尊重しようとしているか見つめ直して自分の行動を振り返り考え、今後の行動を考えることができるか。

九月 二十日
道徳

主題 わたしとあなたの「ふつう」はちがう？
ねらい 一人一人の違いがあることについて考えよう

「ふつう」ってどんな意味

・ふつう・いつもどおり・真ん中

・一般的・みんなと同じ

次の場合・・・「ふつう」？で考えてみよう

例一 将来の夢

例二 好きな色

例三 学校の制服

例四 階段を上るのは…

様々な人の視点からみて「ふつう」って？

みんなが幸せに生活するためにどんなことが大切だと考えますか？

あなたは今後どのようなことを意識していきたいですか

まとめ	展開	導入	学習過程
・今後、自分がどのようなしていきたいかまとめる	・「ふつう」について再度考える。 ・みんなが幸せに暮らすために大切なことについて考え、共有する。	・普段から使用する「ふつう」という言葉について再確認する	学習活動
10分	25分	10分	時間
☆一人一人の違いを認め、尊重しようとして自分を見つめ直し考えることができる。 (ワークシート)	・最初の「ふつう」についてと比べながら再度考えさせる。 ・様々な考えを共有し、自分の考えを広げる。	・「元氣」「好き嫌い」など子供たちが「ふつう」を使用する例を示す。	・指導上の留意 ☆評価方法(観点)